

平成31年1月24日会議概要

第1 日時

平成31年1月24日（木）午前10時から午後1時55分までの間

第2 出席委員

石川委員長、渡部委員、平林委員、長谷委員、森委員

第3 全体会議

[警察幹部出席者]

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、近畿管区警察局京都府情報通信部長

1 委員報告

(1) 京都府警察年頭視閲式

- **石川委員長** 1月19日に開催された年頭視閲式に出席しました。京都府警察の力強く頼りがいのある姿を多くの府民に示していただきました。今回は、式の進行を変更して、先に分列行進を行っていただくなど、より多くの府民に関心を持っていただける構成になり良かったと思います。
- **（渡部委員）** 式の進行が変更され、昨年よりも見やすくなって良かったと思います。
- **（平林委員）** 視閲式の新聞報道では、女性警察官の分列行進の様子が写真で掲載されるとともに、逮捕術演技での女性警察官の活躍ぶりが紹介されていました。報道する側にも多様性が見受けられて良かったと思います。
- **（長谷委員）** 今年は、女性警察職員が前面に出るような構成で、府民に良いアピールができていたと思います。
- **（森委員）** 逮捕術のアトラクションについては、場所が広がったので、複数箇所で行うなど、もう少し観客の皆さんに見ていただきやすくすれば良かったのかなと思いました。また、第三部の車両展示については、非常に多くの方が警察車両に近寄り、見ていただけて良かったと思います。今後も様々な工夫を加えながら、府民・市民に開かれた警察をアピールしていただきたいと思います。

(2) サイバーセキュリティに関する教養

- **（石川委員長）** 1月22日に「I o Tセキュリティの課題と対策」と題する講演を拝聴しました。これまでI o Tといえば限られた一部の企業が関係するものという感覚でしたが、今日、誰もがインターネット社会の参加者になります。参加者になるということは、自分の知らない間に加害者にもなれば被害者にもなるおそれがあるということです。ネット社会は利便性において良い面もある反面、すごく怖い面もありますので、それに備えてセキュリティをしっかりとしなければならぬと思います。
全国警察の中でサイバー犯罪対策と言えば京都府警だと思っておりますので、京都がリーダーシップをとっていただきたいと思います。
- **（平林委員）** 進化するI o Tの実情とデバイスの脆弱性によるサイバー攻撃の実態についてわかりやすく説明していただきました。
京都府警は、サイバー犯罪対策が非常に進んでいると認識しておりますが、講師に

よると、2020年までに250億から500億の機器がインターネットにつながり巨大なインフラが形成されるとのことで、これまでのサイバー犯罪が更に広範囲なものとなり、府民生活の安全・安心がとてつもない規模で脅かされることに怖さを感じました。安全で便利なI o T社会をどう作るのかが課題だと思いました。

- **(長谷委員)** サイバー攻撃などは他人ごとのように思っていました。自分の知らない間に自分のパソコンが、これに加担する可能性があるということをお聞きして、サイバー空間における戦争のようであると感じました。

2 報告事項

(1) 府警あんぜん広場2月号の発行について

総務部長から、府警あんぜん広場2月号に、特殊詐欺被害防止対策、府警公式Facebookの紹介、ネットトラブル対策講座の案内などを掲載する旨の報告があった。

石川委員長から、「サイバー犯罪を取り締まる警察が、ネットトラブル対策講座を開催すれば、参加者は説明をリアルに受け止めると思う。可能な限り広げていただきたい。」との発言があった。

(2) 平成30年度警察官・警察事務採用試験の実施結果について

警務部長から、平成30年度の警察官（第1回、第2回）、警察事務の採用試験の申込者数、受験者数、合格者数、合格倍率及び過去の合格倍率等について報告があった。

(3) 平成30年度第3四半期（10月～12月）における各種監察結果について

警務部長から、京都府警察における総合監察、随時監察の実施状況並びに警察庁及び近畿管区警察局による総合監察、随時監察の受監状況について報告があった。

(4) 平成30年度永年勤続者表彰について

警務部長から、平成30年度の永年勤続者表彰の表彰区分、表彰種別、受賞者数のほか、平成31年2月1日に警察本部で行われる表彰式の式次第等について報告があった。

(5) 特殊詐欺事件被疑者の検挙について

刑事部長から、捜査第二課及び伏見警察署は、平成28年8月以降、共犯者2人と共謀の上、消費生活支援センターの職員らになりすまして、キャッシュカード等を詐取し現金を不正に出金したとして、平成31年1月23日、男1人を詐欺、窃盗で検挙した旨の報告があった。

(6) 「第33回京都市小学校大文字駅伝大会」に伴う交通対策の実施について

交通部長から、平成31年2月10日に開催される「第33回京都市小学校大文字駅伝大会」のコース（スタート：衣笠小学校前、ゴール：岡崎公園野球場、8区間12.385Km）、主な交通規制、警察や主催者側の体制等について報告があった。

(7) 山科区大塚大岩の市道における死亡ひき逃げ事件の発生について

交通部長から、山科警察署及び交通捜査課は、平成31年1月21日午前7時10分ころ、被疑者不詳運転の車両が京都市山科区大塚大岩の市道大塚勸修寺線を北進中、対向直進中の被害者運転の自転車と正面衝突し、被害者を自転車もろとも転倒させ、重篤な傷害を負わせたのに、救護措置等を講じることなく、北進逃走し、被害者が搬送先の病院で死亡したひき逃げ事件が発生した旨の報告があった。

3 本部長報告

本部長から、

- サイバーセキュリティに関する講演については、約13年前（2006年）ころから、車がハッキングされて遠隔操作されたり、電力発電への攻撃の危険性が言われるなど、サイバー空間では新たな脅威が次々と現れているが、それに対応する法の整備は追いついていないのが現状である。そうした中、値段の安いIoT機器の中には、基本的に販売することだけに重きがおかれ、セキュリティ上のメンテナンスなどは放置されているものもある状況である。
- 採用については、京都府は南北に長い地理状況から、京都府警察の人事異動では転居の必要性が生じる職員もいるが、大阪府警察では地理的に人事異動で転居を要しない場合が多い。消防に至ってはもっと狭いエリアでの人事異動となり転居を要しない。当府警察がこの点で競うのは厳しいことから、仕事のやり甲斐等でアピールするべきであると考えている。いずれにしても採用・募集活動は警察署に任せきりにしないで、本部がより積極的に関わっていくことを考えている。

旨の報告があった。

第4 個別会議等

1 審議事項

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、審議の上、12件の行政処分を決定した。

2 報告事項

(1) 初任科第 247期（長期課程）卒業式の実施について

警察学校副校長から、平成31年1月30日に警察学校で実施する初任科第 247期（長期課程）卒業式の式次第等について報告があった。

(2) 放置違反金滞納者対策の推進結果について

交通部長から、これまで放置違反金滞納者に対しては、預貯金や保険、給与等の財産の差押えにより滞納者への責任追及、未収金・不納欠損の減少対策に取り組んできたが、滞納者に対する追求を更に徹底するため、市場のニーズが見込まれる物品等にも対象を拡大して捜索・財産差押えを強化している旨の報告があった。

(3) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。